

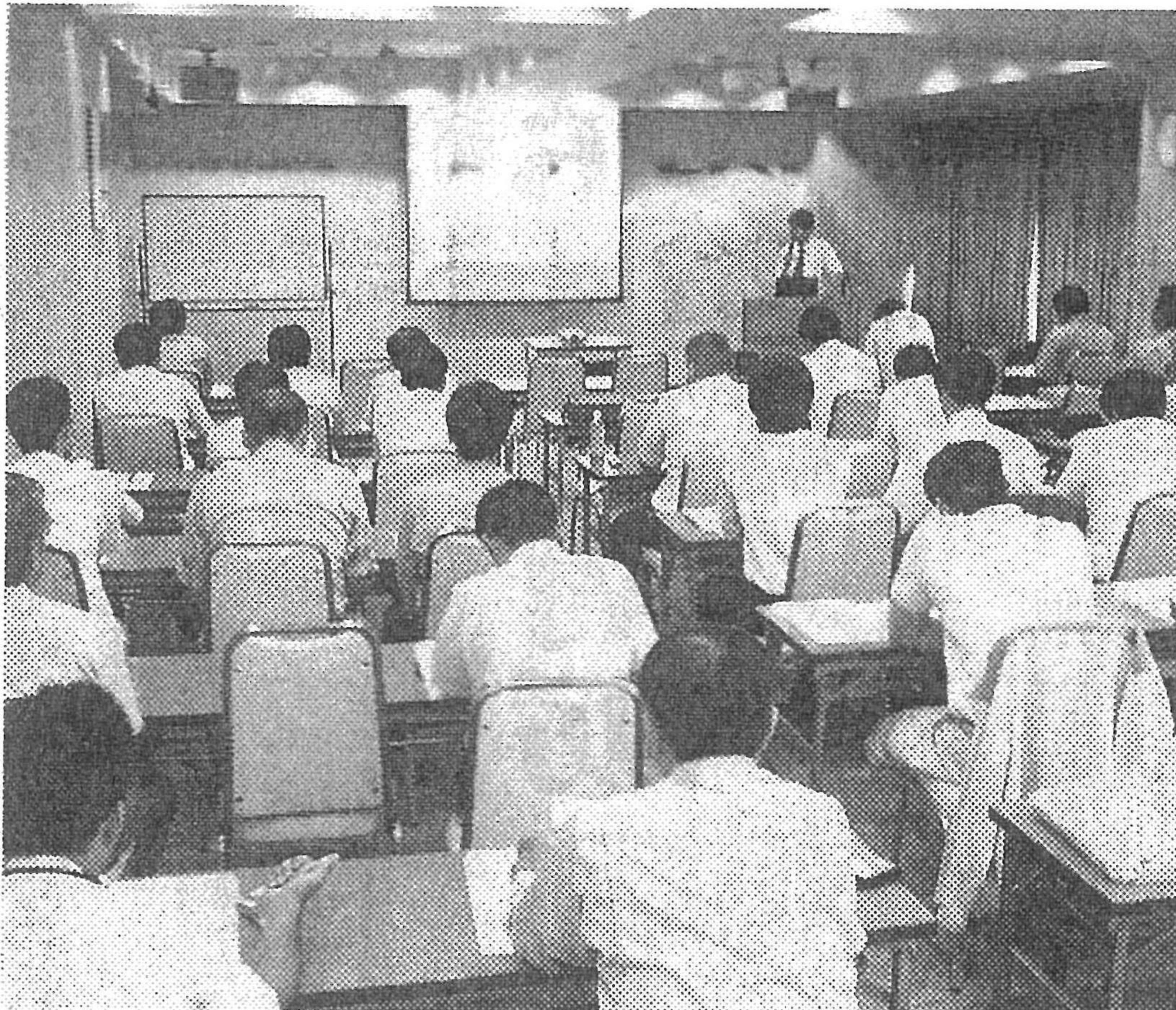
会員が6事例発表

例（メンテナンス調査）

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は19日、県職員会館で第3回技術交流会を開いて意見交換した。

当日は会員約50人が参加。コンクリート診断士の資格を更新する際に提出が義務付けられるレポートを中心に今回は6人の会員に発表してもらった。

テーマは①PCT桁橋の劣化原因の推定と健全度調査（東洋設計）②既設橋脚の補修・補強と新設橋の耐久性評価方針（帝国コンサルタント）③PC箱桁橋に発生したひび割れ調査（日本ピー



コンクリート診断事例について意見交換した技術交流会

エス）④壁高欄コンクリートの損傷と対策（同）⑤3次元レーザースキャナー遠隔ひび割れ計測システムを用いた調査（ナチュラルコンサルタン

ト）⑥ASRによる損傷を受けた構造物の調査事例（メンテナンス調査）と説明。このあと質疑応答が行われ、異業種で構成している会員同士の交流を深めていた。

区にある橋長40mのP

CT橋を診断、目視で確

認したひび割れなどの劣化についてその要因を推定、試験データを踏まえ

現状の健全度を判断した

と説明。このあと質疑応

答が行われ、異業種で構

成している会員同士の交

流を深めていた。